

中学生徒礼拝について

遺愛では毎朝、授業の前に礼拝を行います。水曜日は中高分かれて生徒礼拝が行われます。司会もメッセージも奏楽のピアノも生徒が担当します。高校生はYWCAの生徒が、中学生は前期が中3生、後期が中2生で担当し、毎回とても良いメッセージを話してくれます。勉強のこと、将来のこと、友達のこと、家族のこと、行事のこと、部活のこと、習い事のこと、社会の出来事などについて聖書に照らして考え、語ってくれます。

今日（6月26日）は、中学3年生が遺愛女子中学校に入学して勉強についていくことが大変で、悩んだこともあったが、マタイによる福音書6章34節「だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦労は、その日だけで十分である。」という聖書の言葉を心に留め、あせらず一日一日を誠実に努力しているという旨のお話をしてくれました。

思春期には特に皆の前で自分のことや自分の考えていることについて語ることは、照れくささや恥ずかしさが伴って率直に語れないものですが、本当に一生懸命準備をして、良いメッセージを語ってくれます。担任の先生や聖書の先生のアドバイスもありますが、基本は自分で考えます。自分の生き方を見つめる大切な機会になっていると思います。

また中学では月に1度、その月の誕生者をお祝いする「誕生礼拝」をしています。通常の子供礼拝のあと、その月の誕生者に前に出てもらい、担任の先生が書いてくれた誕生メッセージカードを校長が



誕生者紹介の様子

手渡しし、祝福のお祈りをするものです。一人一人に生を与え育ててくれた神様に感謝すると共に、これからの歩みに祝福がありますように祈り、今まで育ててくれた保護者、家族、友人、先生方に感謝の気持ちをあらわすように願います。

2013年6月26日（水）